



ふれあい福祉

高梁市社会福祉協議会広報紙

第9号

発行
社会福祉法人
高梁市社会福祉協議会
・高梁総合福祉センター内
・電話(0866)22-7243



シルバー会員 がんばっています

今夏は各地で記録的な暑さが続きましたが、そうした中で300人近いシルバー会員たちは、皆様の要望に応えるよう、多くの所で作業に取り組んでいます。

なかでも、夏には事業所などから草刈りの依頼が多くなっています。

また、近年高齢化が進み、一般家庭からの宅地周辺の草刈り・草取りや庭木の剪定の業務も増えています。

もくじ

2006夏のボランティア体験事業 ②～③	支会だより ……………⑤～⑥
訪問介護員養成研修がスタート他 …④	寄付・お知らせ ……………⑦～⑧

2006 夏のボランティア体験事業

福祉施設やボランティアグループで活動

高梁市社会福祉協議会はボランティア活動の実体験をとおし、社会福祉について理解を深めると共に、活動に積極的に参加するような環境づくりを行うため、市内在住者及び市内へ通

学している生徒、学生を対象に夏のボランティア体験事業を毎年実施しています。

そして、ボランティア活動に関心のある方が社会福祉施設や地域のボランティアグループで

様々な出会いの中から新しい発見や「ともに生きていく」視点を育むことを目的としています。

事前研修会では

手話を体験

七月一日、ボランティア体験事業の事前研修会を、高梁総合福祉センターで開催しました。

この日、市内の中学生や高校生ら二百十五人が参加。ボランティア活動の心構えや注意事項の説明に続いて高梁市手話ボランティアの会の会長らによる指導で、「みんなで手話に親し



全員で手話を体験

みましょう」と自己紹介やあいさつの仕方などの手話を体験しました。また、受け入れ側からは二十七の施設や団体からの参加があり、活動の紹介などがありました。その後、それぞれが希望する施設、団体の担当者や活動日や留意事項、具体的な活動の内容などについて打ち合わせを行いました。

ボランティア活動は 社会を支える大きな力

今年は「はじめようボランティア あなたの気持ちで地域を変えろ」をキャッチフレーズとして取り組みました。

ボランティア活動は、お互いの幸せを求めて、自分たちの手

によって、住みよい地域に変えていく活動であり、社会を支える大きな力となります。

ボランティアは、これからの地域福祉を進める上で欠かせない方法であるといえます。それぞれの悩みや様々な地域の課題を自分の問題としてとらえ、進んで身近な活動に参加して、活動を通じてボランティア自身も成長していくところに、大きな特徴があります。相手の悩みや問題を見つめ、人間関係を大切にしながら取り組み、社会の福祉を高めるために役立てる活動です。



高齢者栄養改善講習会で活動する生徒（左端）



保育施設で

今回の参加者の中には夏のボランティア体験活動が三回目となる方が二十二名、二回目が五十七人で、その他は初めての参加でした。

79人が以前にも 夏ボラを体験



デイサービスセンターで

参加の動機は、「社会や地域の役に立つ活動をしたかったから」や「自分自身の成長や学習のため」などの理由が多く、なかには「いろいろな施設で多くの体験をしてみたい」と複数の施設での活動を希望する方もいました。また、「どんなことがあるか不安だが、すごく期待もしている」という気持ちで参加した中学生もいました。



高齢者福祉施設の納涼祭で

事後研修会

多くの出会いと

貴重な体験

八月二十二日、高梁総合福祉センターにおいて、夏のボランティア体験事業に参加した生徒、学生百九十六人と受け入れ施設・ボランティアグループの

代表者の方々の出席をいただき、ボランティア体験の成果について話し合う事後研修会を開催しました。生徒、学生らはそれぞれ活動先ごとにグループに分かれて、体験をとおしての感想や自分の将来に生かしたいことなどを嬉しかったこと、困ったことなどと合わせて意見交換を行いました。

印象に残ったことを「利用者の方から『ありがとう』『たすかっただ』と声をかけてくださったのが嬉しかった。色々なことを学ぶことができました。この経験を何かに役立てれば良いと思っています」といった感想もありました。

その後、各グループの代表者が、それぞれでまとめた内容について発表をしました。

また、貴重な体験の場を提供してくださった受け入れ施設の方とボランティアグループの方からは、生徒たちへの感想と事業に対する助言をいただき、今年夏のボランティア体験事業を終了しました。



グループ発表をする生徒



事後研修会（意見交換）



ベッドメイキングを学ぶ受講者

訪問介護員養成 研修がスタート

市内外から15人が応募

七月十八日、平成十八年度介護講習会（社団法人県シルバー人材センター連合会主催）の開講式が高梁総合福祉センターで行われました。

この講習は、県内在住の働く意欲のある六十歳代前半の方を対象に、雇用を前提とした訪問介護員の資格取得を目指すもので、受講者は市



車椅子の取扱い説明

内のほか倉敷市、新見市などからの応募もあり合計十五人。高梁市社会福祉協議会も、広報紙での募集のお知らせや、会場の提供などによりこの事業を推進しています。

講習はこの日から十二月四日まで続けられ合計二十二日間、百三十時間にわたって講義、実技、実習が行われ、研修終了と同時に「訪問介護員養成研修二級課程」の資格取得ができます。受講者の女性は、応募の動機を「近所には一人暮らしの高齢者の方が多く、そのお世話をしつてあげたい。また、自分が将来介護を受けるようになったとき、その知識を持って受けたいと思

い応募した」と話されました。



ご協力をお願いします

今年も十月一日から全国一斉

に赤い羽根共同募金が始まります。高梁市の目標額は、県共同募金会において六百二十万円となりました。一世帯あたりの目標額を五百円に各戸募金や街頭募金、バッジ募金、法人募金等を通じて市民の皆様へご協力を

お願いしてまいります。

皆様から寄せられた募金は、県共同募金会が主体となって地域の様々な活動や支援に役立てさせていただきます。

ご協力をよろしくお願い致します。



赤穂市社協と 交流研修会

移送サービス

ボランティアグループが来高

七月二十一日、赤穂市社会福祉協議会から移送サービスボランティアグループ「てんとうむし」の会員ら三十二人が交流研修会のため来高。

赤穂市は人口約五万二千人で、「てんとうむし」の会は平成四年から移送サービスを開始、現在会員は六十人。

移送サービスの対象は車椅子利用者に限って行われているな



「てんとうむし」の会員との交流研修会

ど、内容については、それぞれ市の実情によって、社会福祉協議会の扱いも異なっていました。また運営方法など研修会で双方の情報交換を行いました。

支 会 だ よ り

川 上

真心込めて

給食をお届けします

食の自立支援事業

川上支会では、食の自立支援事業を市から委託を受けて実施しています。実施は週三日で、月曜日と金曜日に夕食を、水曜日に昼食を配食しています。高齢者で一人暮らしの方や高齢者世帯の方などが利用されており、各地区のボランティアが声掛けと安否確認を兼ねて、自宅までお届けしています。調理は地元の業者が工夫を凝らし、バランスのとれた内容となっております。利用者負担金は、三〇〇円です。現在約四十の方が利用されています。



サービスを受ける利用者



ボランティアによる配送

利用者は、「給食のサービスを受けることができ、ありがたい感謝の気持ちでいっぱいです。ボランティアの皆様本当にありがとうございます」と話されていました。

今後も、利用者の方が健康で過ごされることを願って真心を込めて給食をお届けします。

利用についてのお問い合わせは左記まで。

社会福祉協議会川上支所

TEL ④9770

白 寿

おめでとうございます

川上町仁賀、三宅静さんが八月二日、九十九歳の誕生日を迎えられ、森下川上支会長

からお祝いの記念品が贈られました。長寿を心から、お祝い申し上げます。



記念品を受ける三宅さん

備 中

神楽で楽しいひとときを

湯野子供神楽育成会が

やすらぎ荘を訪問

八月二十三日、備中デイサービスセンター（やすらぎ荘）に湯野子供神楽のボランティア十人の訪問がありました。

猿田彦の舞、事代主の命や大國主の命の舞など約一時間三十分の熱演に利用者は食



福の種を利用者の方へ

入るように楽しいひとときを過ごしました。

子供たちの一生懸命の舞に利用者からは、「かわいしいし、よく練習ができていて上手だった。感動した」「また来てほしい」などの声が聞こえていました。



猿田彦の舞を披露

高梁

地域型福祉学習事業で

花植え

彩り宇治福祉の会

宇治高等学校ではこのほど職員と学生、二十六人によりマリーゴールドやサルビアなどの花植えが行われました。

これは、宇治地域が岡山県社会福祉協議会から「地域型福祉学習事業」の指定を受け、地域の団体、学校などで「彩り宇治福祉の会」を結成して取り組んでいます。

この事業は地域福祉推進の担



花植えをする高校生

い手を育成するため、地域で展開する福祉学習活動を推進し、共生、協働のあり方を模索していこうとするものです。

花いっぱい運動は、従来から地域で取り組んでおり学校とともに展開することで、ボランティア活動に対する意識の向上を目指します。

また、地域型福祉学習事業では、吉備国際大学の協力を得て住民ニーズを把握し、地域の方が更に参画できる活動への展開を図りたいと考えています。

成羽

健康福祉まつり成羽開催

九月三日、成羽総合福祉センターなど三箇所を会場として、健康福祉まつり成羽を開催しました。厳しい残暑にもかかわらず大勢の参加をいただき、元気にプレーを楽しむ参加者のはつらつとした表情が印象的でした。

当日実施した競技種目は、チャリティーゴルフ、ソフトバレーボール、グラウンドゴルフ、

有漢

みんなでつくる

福祉の町

有漢地域では、各町内会で集落福祉活動普及促進事業として、様々な福祉の事業に取り組んでいます。

川関上と川関下の町内会では合同で、毎年運動会を開催しています。

この日は、約百五十人が参加

二町内会合同による運動会

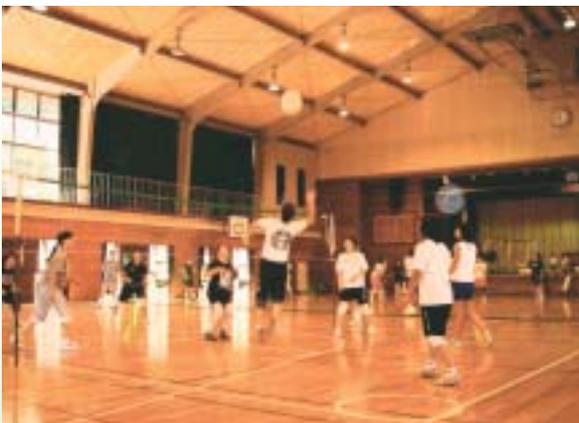


し、風船割競争など七種目の競技を通して一層親睦を深めました。

三百六十一人が参加

ビリヤード、輪投げ・ピンボウリングでした。

また、恒例のチャリティーゴルフ大会には百九人が参加され、当日寄せられたチャリティー募金十一万四千八百一円を成羽支会へ寄付金としていただきました。厚くお礼申し上げます。



プレーを楽しむ参加者

社会福祉協議会へのご寄付

18年7月～8月

ありがとうございました

高梁市社会福祉協議会へ平成18年7月と8月にいただいたご寄付についてお知らせします。心から感謝申し上げ社会福祉事業に活用させていただきます。

なお、金額等については寄付者の意向によって掲載しています。(敬称は略させていただきます。)

【香典・玉串料・御花料返し】

《高梁支会へ》

- 金一封 松原町 中村 清志 (故・隆四郎様のー)
- 金一封 小高町 川原 裕子 (故・敏男様のー)
- 金一封 内山下 坂東 英明 (故・篤子様のー)
- 金一封 落合町 東平 信弘 (故・敏男様のー)
- 金一封 早島町 信下 利幸 (故・八重子様のー)
- 金一封 高倉町 仲田勇次郎 (故・秋與様のー)
- 金一封 玉川町 川上 敏之 (故・清様のー)
- 金一封 津川町 安田 義紘 (故・加代子様のー)
- 金一封 玉川町 黒川 宣行 (故・光子様のー)
- 金一封 鍛冶町 小見山美雄 (故・てる様のー)
- 金一封 岡山市 溝川 茂 (故・武志様のー)
- 金一封 川面町 池長 生恵 (故・ユキエ様のー)
- 金一封 段町 黒田恵美子 (故・省吾様のー)
- 金一封 津川町 鷺森 幸子 (故・寿太郎様のー)
- 金一封 宇治町 仲田 孝枝 (故・春雄様のー)

金一封 正宗町 高坂 茂維 (故・義隆様のー)

金一封 落合町 村上 三郎 (故・美代子様のー)

金一封 川面町 湯浅 孝之 (故・イト様のー)

金一封 川面町 森脇 光夫 (故・八重子様のー)

金一封 鍛冶町 大西 英夫 (故・孝寛様のー)

金一封 御前町 原田 二男 (故・純江様のー)

金一封 原田北町 森下美智代 (故・毅様のー)

十万円 高倉町 三村 和之 (故・美智代様のー)

金一封 横町 山川 隆章 (故・豊吉様のー)

金一封 川面町 中森 武 (故・登美江様のー)

《津川地区へ》

金一封 津川町 安田 義紘 (故・加代子様のー)

金一封 津川町 鷺森 幸子 (故・寿太郎様のー)

《川面地区へ》

金一封 川面町 森末 智衛 (故・近江様のー)

金一封 川面町 池長 生恵 (故・ユキエ様のー)

金一封 川面町 佐藤 睦子 (故・学様のー)

金一封 川面町 湯浅 孝之 (故・敏男様のー)

金一封 川面町 森脇 光夫 (故・イト様のー)

金一封 川面町 中森 武 (故・八重子様のー)

金一封 川面町 湯浅 孝之 (故・登美江様のー)

《巨瀬地区へ》

十万円 巨瀬町 島田 富雄 (故・寛信様のー)

金一封 巨瀬町 柴田 和夫 (故・亀三郎様のー)

五万円 巨瀬町 山上 満 (故・正行様のー)

《中井地区へ》

金一封 中井町 藤森 宣人 (故・岸様のー)

《玉川地区へ》

金一封 玉川町 川上 敏之 (故・清様のー)

金一封 玉川町 石田 泰宏 (故・長谷川茂子様のー)

《宇治地区へ》

六万円 宇治町 土田 良雄 (故・八千代様のー)

金一封 宇治町 仲田 孝枝 (故・春雄様のー)

《松原地区へ》

金一封 早島町 信下 利幸 (故・八重子様のー)

《落合地区へ》

《有漢支会へ》

金一封 有漢 宮田 牛夫 (故・冬野様のー)

金一封 有漢 佐藤 玄二 (故・兼代様のー)

金一封 有漢 土手 誠 (故・繁太郎様のー)

金一封 上有漢 杭田 正 (故・増夫様のー)

金一封 有漢 和田 直樹 (故・壽志様のー)

《成羽支会へ》

金一封 下原 西江勝次郎 (故・長江由男様のー)

金一封 坂本 入江 嘉雄 (故・政市様のー)

十万円 布寄 大塚 裕玄 (故・成玄様のー)

金一封 成羽 前崎 元秀 (故・幸一様のー)

金一封 横浜市 矢島 久義 (故・孝子様のー)

《川上支会へ》

金一封 地頭 大村 栄 (故・昭子様のー)

金一封 高山 山崎 忠浩 (故・喜代美様のー)

金一封 上大竹 竹森 俊司 (故・美代子様のー)

金一封 仁賀 藤井 進 (故・ミラル様のー)

- 金一封 七地 丹治 弘光 (社会奉仕として第266・267回目)
- 金一封 下大竹 三宅 憲政 (故・保次様のー)
- 金一封 仁賀 三村 光子 (故・春美様のー)
- 金一封 地頭 鈴木 繁実 (故・寿人様のー)
- 金一封 落合町 柏木 富雄 (故・定市様のー)
- 金一封 落合町 柏木 富雄 (故・スエノ様のー)
- 《備中支会へ》
- 金一封 布賀 堀田 勝 (故・益男様のー)
- 金一封 東油野 谷岡 素子 (故・城井田文美様のー)
- 金一封 東油野 川上 一夫 (故・操様のー)
- 金一封 平川 岡崎 宣治 (故・ヨシコ様のー)
- 金一封 志藤用瀬 芳賀 光仁 (故・勉様のー)
- 金一封 倉敷市 赤木 正吾 (故・浪子様のー)
- 金一封 岡山市 西川 忠志 (故・定一様のー)
- 金一封 平川 大前八重香 (故・清治様のー)
- 金一封 岡山市 内藤 武士 (故・ツヨノ様のー)
- 《高梁支会へ》
- 金一封 匿名 匿名 (匿名)
- 《川上支会へ》
- 金一封 下大竹 川上 慶子 (退院内祝いととして)
- 金一封 下大竹 滝川 美子 (退院内祝いととして)
- 金一封 上大竹 山室 江 (退院内祝いととして)
- 金一封 仁賀 三宅 静 (白寿内祝いととして)
- 金一封 仁賀 妹尾 定純 (退院内祝いととして)
- 《有漢支会へ》
- 金一封 有漢 上森 一郎 (退院内祝いととして)
- 金一封 有漢 山縣 邦子 (退院内祝いととして)
- 金一封 有漢 蛭田 禎男 (退院内祝いととして)
- 金一封 有漢 久保 榮 (退院内祝いととして)
- 《成羽支会へ》
- 三万円 西宮市 中谷 征司 (社会福祉事業に対する寄付として)
- 《宇治地区へ》
- 金一封 宇治町 藤井 妙子 (退院内祝いととして)
- 《松原地区へ》
- 金一封 松原町 瀧江 要 (退院内祝いととして)
- 《有漢支会へ》
- 金一封 有漢 上森 一郎 (退院内祝いととして)
- 金一封 有漢 山縣 邦子 (退院内祝いととして)
- 金一封 有漢 蛭田 禎男 (退院内祝いととして)
- 金一封 有漢 久保 榮 (退院内祝いととして)
- 《備中支会へ》
- 金一封 布賀 内田 芳男 (一般寄付として)
- 金一封 西山 赤木 久志 (退院内祝いととして)
- 金一封 西油野 角川 小浪 (退院内祝いととして)
- 金一封 布賀 前原 絹江 (退院内祝いととして)
- 金一封 東油野 松田 敏弘 (退院内祝いととして)

お知らせ

認知症研修会

- ▽日時：十月一日(日) 午後一時開会
- ▽会場：高梁市川上総合学習センター
- ▽講演：「今日からできる認知症予防」 東京都老人総合研究所 宇良 千秋 先生
- ▽アトラクション演奏 井原吹奏楽団メルヘンウインドアンサンブル
- ▽フリートーク 「地域の現状と私たちの

「シルバーフェアおかやま 2006 in 総社」の開催

「できること」講師及び地域協議会代表者
 主催：高梁市川上認知症研修会実行委員会
 △問い合わせ
 川上在宅介護支援センター
 TEL 4184
 社会福祉協議会川上支所
 TEL 9770

身体障害者 巡回更生相談

▽会場：きびじアリーナ (総社市スポーツセンター 体育館)
 △催しコーナー：会員手作り作品展示。シルバー事業実演・体験。地域特産品・農産物即売。会員によるアトラクション(日本舞踏、フルート演奏)。ちびっ子コーナー。など

相談日 九月二十六日(火)
 受付 十時～十二時
 審査開始 十時三十分
 科目 肢体、聴覚
 内容 補装具(義肢、装具、補聴器など)の交付や修理の相談等
 会場 高梁総合福祉センター
 持参品 印鑑、身体障害者手帳
 問い合わせ 市役所社会福祉課 TEL 0264